

研究課題名	MRI を用いた精神疾患の病態解明及び客観的診断法確立のための多施設共同研究
研究期間	実施許可日 ～ 2025年3月31日
研究の対象	H15(2003)年1月からR2(2020)年10月の間に、広島大学病院精神科で下記の研究に参加された患者および健常ボランティアの方。 ① 気分障害患者における脳機能マッピング法を用いた脳の反応性に関する研究 ② 気分障害の認知障害とその治療法に関する心理社会的・脳科学的検討 ③ 難治性うつ病の治療反応性予測と客観的診断法に関する生物・心理・社会的統合研究 ④ うつ病・躁うつ病・難治性うつ病の診断・治療法の創出のための脳機能画像研究
研究の目的・方法	目的：うつ病は自殺や長期休職といった社会問題と密接に関係しており、その病態の本質的な解明が急務となっていますが、その脳メカニズムはまだ解明されていません。今回、MRIなどの脳画像データ（機能画像を含む）と関連する症候や行動データを統合的に解析することでうつ病の脳内メカニズムを解明し、よりよい診断・治療法を開発に活用するため、この研究を計画しました。 研究：本研究は、過去に研究用に撮像し、対象者を識別できないように個人情報加工済のMRIデータおよび研究参加当時の質問紙・行動課題データを、他機関での過去の研究で得られたデータと合わせて二次解析します。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）。
研究に用いる情報の種類	対象者を識別できないように個人情報加工済のMRIデータおよび研究参加当時の質問紙・行動課題データなど
外部への試料・情報の提供	共同研究機関への情報提供は、対象者を識別できないように個人情報加工済のままハードディスクを用いて共有します。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2015年7月13日）以降
個人情報の保護	本研究に用いる情報は、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述は含まず、研究用の番号を付け、どなたのものか分からないよう加工した状態で共同研究機関と共有します。個人と連結させるための対応表は、本院の研究責任者が保管・管理します。
研究組織	本学の研究責任者（研究代表者） 広島大学大学院医系科学研究科精神神経医科学 特定教授 岡田 剛 研究機関の長 広島大学理事 田中純子

	<p>共同研究機関</p> <p>国際電気通信基礎技術研究所 川人 光男</p> <p>沖縄科学技術大学院大学神経計算ユニット 銅谷 賢治</p> <p>量子科学技術研究開発機構 山田 真希子</p> <p>東京大学精神医学精神医学教室 笠井 清登</p> <p>山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学分野 松尾 幸治</p>
<p>研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先</p>	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3  Tel : 082-257-5479  広島大学病院 精神科 特定教授 岡田 剛</p>